

皇后杯 第36回 全国女子駅伝

開催日:平成30年1月14日(日)

場所:西京極陸上競技場スタート・ゴール

| 種目 | 名前 | 学年 | 記録 | 着順 | 備考 |
|-------|-------|----|--------|------------------|--------------|
| 2区4km | 西松 美樹 | 1年 | 13分04秒 | 区間19位 (47チーム) | 高知県チーム 総合16位 |
| 4区4km | 高山 育実 | 3年 | 13分57秒 | 区間30位 (47チーム) | 新潟県チーム 総合27位 |

【山本コメント】

36回の歴史がある都道府県対抗の全国女子駅伝。42.195kmの距離を社会人、大学生、高校生、中学生ランナーが9区間にわたってタスキをつなぐ。郷土色が強く出る大会で、会場では県人会による地元応援も多い。今回、新潟陸協から高山育実に、高知陸協から西松美樹に出場要請があり、それぞれが代表チームの一員として参加した。当日はやや寒い気温であったが、比較的良いコンディションの中で開催された。

高山も西松も、昨年末に富士山女子駅伝を走った後で調整が難しかったと思われるが、前半の力がある選手が集中する区間の中でしっかり走り切り、県の成績に貢献できたといえよう。特に西松が走った高知チームは、県代表として過去最高の総合順位、タイムを達成した。

郷土の都道府県代表の選手として走れることは、たいへん光栄なことである。また、一般、大学、高校、中学の選手が一本のたすきをリレーしていくこの大会は、まさに世代間で思いをつないでいくことを象徴しているともいえよう。来年以降も、さらに多くの部員が出場要請を受けられるように期待したい。